



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和2年10月1日(木)

「のしろ白神の道」ルート標示 & SNS 発信スタート！ 編

のしろ白神ネットワーク(以下, NW)が立ち上げ時から毎年欠かさず実施している行事に「のしろ市民まちづくりフォーラム」があります。風景街道やまちづくりの先進地から講師をお招きし, NW 関係者だけでなく, 広く市民の方々と一緒に学びながら, 当地で何ができるかを共に考えることを目的にしています。平成30年度, 令和元年度は, 北海道からルート代表者や開発局の方々にお願いいただきました。

北海道では, 地方郊外の大きな交差点や道路情報板に「シーニックバイウェイ北海道」やルート名の標示があり, どのルートエリアに入ったのか, どのルートを走っているのかが分かるようになっています。こうした取り組みを NW でもできないか, 北海道開発局から情報をいただきながら, 昨年度から準備を進めてきました。

10月1日, 10時。能代河川国道事務所前の道路情報版の標示が「道路の異常は緊急ダイヤル#9910へ」から「日本風景街道 のしろ白神の道」に, 更に「Scenic Byway Japan Noshiro Shirakami Scenic Byway」に変わりました。これからは, 災害や事故等の緊急情報, 道路情報の発信が必要ない場合に, 日本語・英語が交互に標示されるようになります。

その後, 能代河川国道事務所調査第二課の久留嶋さんが事務所前の案内標識に記念すべき風景街道ロゴマークとルート名シールを貼られました。添付にあたっては, 看板等を新たに設置して景観を阻害しないよう, 案内標識や照明灯など既存の構造物を活用すること, 設置高さや設置方向, 設置間隔, 維持管理を明記した添付ルールを決めました。今年度は国道7号の上下合わせて20箇所に順次添付し, 来年度からは県道等へ広げていけたらと考えています。

また, この日から事務所の SNS で, 風景街道に関する情報発信も始まりました。より多くの方に風景街道や NW の取り組みを知っていただき, 緩やかな連携が進むといいですね。

文: 渡辺 千明

能代河川国道事務所の SNS : https://twitter.com/mlit_noshiro

北海道では横長の2カ国語表示のパネルがルートエリアの境界に掲示されています(上)。ルート名は道路情報板に日英語交互に表示されます(下)。



国道を走る時には見つけてくださいね！



ルート標示は東北で初めて！ということで, 北羽新報や東北風景街道協議会の取材がありました。